

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ピタゴラボ城東		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2025年 2月 1日		2025年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者一人ひとりの特性や性格にあわせた支援が実践できている。「本人支援」の観点は強みであり、その結果、保護者様の満足度も高くなっている。	毎週末の会議で、利用者の様子を報告・共有を綿密に行い、利用者それぞれの特性に配慮した支援が実践できるような体制を作っている。	各職員がより一人ひとりの支援計画案に記載されている目標等を把握して支援が実践できるように、その日利用する児童の目標を掲示するなどの工夫を行う。
2	一人ひとりの意思を尊重して個人活動の場も守りつつ、集団活動への参加も意識してその機会を提供することができている。	一人ひとりの一日のスケジュール立案を行いつつ、集団で活動が行えるような療育内容を展開して参加を促す意識を職員間で持つことができている。	一人ひとりの意思を尊重する意識は大切にしつつ、バラバラに活動する時間が長くなることで職員の配置が不適切にならないように、施設としての一日のスケジュールを作ってメリハリのある行動ができるようにしていく。
3	放課後等デイサービスの利用者との関わりを持つことで、異年齢間での交流が活発になっている。その結果、就学時の環境のイメージがしやすくなっている。	土日祝日のイベントを欠かさずおこない、異年齢での交流が生まれるようにグループやペアを工夫したり、配慮した声掛けをしたりしている。	異年齢でのコミュニケーション量を増やし、年上の子に憧れたり、年下の子を思いやりたりできる場を設定する。土日祝日のイベントだけではなく、平日の活動時にもレクリエーションなどを用意してコミュニケーションが活発になるような施設づくりを行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	チーム単位での活動プログラム立案に課題があり、職員が主導して行う活動展開が少ない。また、特定の職員が活動提案や展開をおこなうといった偏りも見られる。	個人の意思を尊重する面が比率的に高くなり、職員も個別での対応が多くなっている現状がある。 また、具体的な活動内容の提案や展開の量は少なく感じている。	毎週末の会議に加え、一日の始まりにおこなう朝礼等で、一日の活動プログラムを話し合う機会を作ることを検討する。
2	「家族支援」「移行支援」「地域連携」などの面に課題がある。また、実施していても取り組み内容や目的を保護者様にうまく伝えることができていない点が課題である。	関係機関と連携をおこなう頻度が人員の関係もあり少なくなっている。また、外出支援やお買い物支援など地域との関わりを持つ支援も定期的に実施しているが、それが地域参加などの機会につながっていることやイベント実施の目的をSNSやHPなどの媒体を含め、保護者様に効果的に伝えるための仕組みが構築されていない。	毎月発行する月のイベント内容詳細に支援の観点を盛り込むことで、事業所の活動内容がより分かりやすく伝わる工夫を行う。また、SNSやHPなどの認知度を高めるために、QRコードを載せたり、新規契約の際にはアカウントの登録をお願いするなど広報等にも力を入れる。また、関係機関との連携、保育所訪問などの支援を取り入れていく。
3	支援終了後の日ごとの振り返りが綿密におこなえていないことがある。	翌日の申し送りや週末の会議等で確認・共有・話し合いは実施しているが、日ごとの終礼などの実施ができていない。	翌日出勤職員への申し送りや会議での振り返りは継続しつつ、当日の支援内容を当日に確認できるような仕組み(終礼の実施など)をつくり、よりきめ細かな支援ができるようにしていく。

公表 保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名 ビタゴラボ城東

公表日 2025年3月31日

利用児童数

13

回収数

8

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	2	0	0	運動をするには少しスペースが足りないように思う。宿題とかしてる子にボールが飛んできたりして危ない。	活動時の環境調整を適切におこない、お子さまが安心安全にお過ごしいただける施設運営をおこなってまいります。貴重なご意見誠にありがとうございます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	0	0	たまに足りてない。	今後も職員の資質向上、連携を強化し、滞りなく安全に運営できるよう尽力してまいります。貴重なご意見誠にありがとうございます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	0	0	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		お子さまが心地よくお過ごしいただけるように、引き続き施設の清掃や環境づくりをしております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	0	0	1		定期的にモニタリングを行い、課題の確認、目標の設定をしております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		日々お子様の活動の様子を観察し、職員間で情報共有もおこないながらアセスメントもらせて頂いております。それらを踏まえて支援計画書の作成にあっております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		会議でお子様の課題、目標を確認し、職員全員で支援にあたっております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7	1	0	0		会議で各職員から意見を集め、様々な活動を実施しながら日々運営を行っております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	2	1	3	2	他の子供との交流は聞いたことがない。	週末のイベント等を活用して地域交流をおこなうことも検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		ご契約時にご説明させていただいております。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	0	0	0		モニタリング等の際に確実にご説明させていただきます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	0	1	0		定期的に親子参加型イベントを実施しております。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	6	2	0	0		送迎時や、メッセージ・お電話、モニタリング時にお話などさせていただいておりますが、より保護者様と共通認識をもって支援を行えるように尽力してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	0	0	0		保護者様に対して、より具体的な助言等ができるように職員の資質向上に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	2	保護者同士の交流はない。必要としてもいない。	親子参加型イベントを定期的に実施しておりますが保護者様のご希望に合わせてご参加の選択できるように引き続き運用をしております。	
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	1	相談することがあまりないが、様子見になることが多い。	保護者様の相談を受けた際は、より具体的な支援方法やアドバイスをさせていただけるように、職員の資質向上を図ってまいります。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	1	LINEで報告はある。HPやSNSは知らない。	インスタグラムやリタリコ発達ナビなどで様子をブログアップや活動の様子を発信しております。保護者様に認知していただけるように、積極的に告知等させていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		個人情報の取扱いには細心の注意を払っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	0	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	2		年二回の防災訓練を行っております。どのお子さまにとっても参加しやすい内容で実施できるよう努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	1		お子さまの安全を確保できるように職員への指導をおこない、支援してまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	0	0	1		そのようなことがないように努めてまいります。もしも事故等があった場合は、速やかに医療機関や保護者様に状況報告や説明をさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		今後もお子さまが安心安全に通所いただけるような施設づくりをしてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0	「今日はピタゴヤで」と言うと「やったー！」と喜んでいる。	お喜びいただけているとこのことで嬉しい限りでございます。今後もお子様が楽しく安心して通所して頂けるような施設運営をおこなってまいりますのでよろしくお願い致します。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0		今後も、保護者様やお子様にご満足いただけるような施設づくりをしてまいります。

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		ピタゴラボ城東		公表日		2025 年 3 月 31 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	5		送迎の都合上、施設内職員と児童の比率が基準よりも多くなってしまうことがある点が課題。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2		玄関前が大通りのため危険がある場面もあるので注意が必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1	子どもたちがのびのびと過ごせるように空間は開けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	個別の対話が必要な場合は個別の部屋に移動している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	毎週末に会議が行われており、その際に業務改善のための有意義な話し合いが行われている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	定期的(2か月に1回)な職員面談が実施されている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	対象別に研修を内外で実施している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	会議を通して広く意見集約を行うことができる環境を作っている。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	2			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	2		本人支援の観点が強くなっており、そのほかの観点に関してはより意識していく必要がある。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	3	朝礼時等に一日の活動や流れを意識するように話し合いを行えている。	チーム単位での活動を徐々に実施出来るようになってきている最中であるが、まだまだ推し進めていく必要がある。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	イベントを毎週末に開催しており、内容は運動、制作、クッキング、実験、外出など多岐にわたっている。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	個人活動も尊重しつつ、集団での活動も一日1回はできるように促している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	5	終了後に話すこともあるが、会議の機会を中心に話し合いを行えている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	3		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	アセスメントをしっかりと取り、目標の継続や修正などの判断を施設として行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	1		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	4		保護者を通じての連絡共有は行っているが直接のやり取りは少ない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	8		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	8		地域交流ができておらず、課題である。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時等、その日の様子やトラブルがあれば丁寧に説明することができている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	3	保護者参加型のイベントを定期的実施している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	モニタリング時に丁寧に児童の様子や意思、保護者様の意思を聞き取って話し合いを行うことができている。		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	送迎時やお電話、メッセージなどを介して丁寧に答えようとする意識を職員間に落とし込み、実践するようにしている。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	0	イベント実施ごとにブログの更新を行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6	親子参加型イベントの中に家族参加のイベントを設けることで地域からの活動も広げている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	2		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	服薬や発作時の対応について、職員間で周知している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	2	医師の指示書をお預かりしていることはないが、保護者から指定された対応を実施している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	2	避難訓練とその研修を実施して安全面にも配慮できるように意識をしている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	1		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	ヒヤリハットが追加された場合は会議等でも共有し、次に活かしていく意識を持つことができている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	事業所内で虐待に関する研修や人権研修を実施している。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	必要な場合は、同意書含めてしっかりと確認を行う体制となっている。		